

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 えがお	代表者	小場佐 美穂	法人・事業所の特徴	小規模多機能居宅介護事業所として、利用者、家族、地域から求められている役割を果たせるよう柔軟にサービスを提供しています。また、介護という仕事を通して自己研鑽に努め、利用者、家族、スタッフが笑顔で生活できるように、スタッフ一丸となって頑張っています。
事業所名	小規模多機能ホーム ぼほえみ	管理者	一法師 豊		

出席者	市町村職員	1人	知見を有するもの	1人	地域住民・地域団体	3人	利用者	人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	人	近隣事業所	人	事業所職員	1人	その他	人	合計	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	スタッフ全員の意見が反映された。事業所評価の作成は確認できた。改善計画をPDCAサイクルを用いて実施したい。	改善計画をPDCAサイクルを用いて実施できていない。	スタッフ全員の個別評価、自己評価の取り組みが確認できた。	改善計画については、適切にPDCAサイクルを活用し改善を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	身体拘束については、研修等を通してスタッフ全員が共通の理解を持ち、統一したケアを行うにしたい。	H28年度は身体拘束の研修を実施できていない。	特になし。	身体拘束の研修については、内部、外部研修に限らず、研修参加を通してスタッフ全員が共通の理解を持ち、統一したケアを実施する。
C. 事業所と地域のかかわり	地区住民に対して、定期的に、周知、説明を行っていききたい。	地区住民に対して、定期的に周知、説明が実施できていない。	介護相談窓口の設置や、定期的な介護相談ができる催しを開催したかどうか？	地域サロン等で事業所内容の説明や周知を行って行く。また、介護相談窓口についても、広報誌等を活用させて頂き周知する。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	散歩等、地域との交流の場を増やし、ケアプランに反映させていききたい。	散歩等、個別ケアとしてケアプランに反映させている。	車いすでの散歩を見かけることが多くなった。	散歩以外にも、地域との関わりをケアプランに反映させ支援を行う。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議で頂いたご意見は次回の運営推進会議でご報告させて頂きたい。	地域での取り組みを口頭で報告はしていたが、議題として取り上げることは少なかつた。	運営推進会議にて、地域の取り組みや事例検討等を議題として頂き、その後の改善策や経過報告を行って頂きたい。	事例検討については定期的に議題とし、その後の改善策や経過報告を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	近隣住民の協力体制構築を検討していききたい。	地域の高齢者の問題もあり、参加要請をしていくなかつた。	地域の高齢化は、防災・災害対策にとって深刻な問題である。	今後は近隣住民に対して、消防訓練のお知らせ、訓練内容の報告、連絡体制のお知らせ等を行い情報共有を図る。